にいがた文化の記憶館ニュース

にいがた文化

第6号
2021年3月

森蘭斎《龍虎之図、三国志武人之図屏風》妙高市指定文化財　制作年不明　妙高市蔵
企画展示「江戸のリアリズム　森蘭斎」（2020年8月22日～11月23日）で展示

＝目次＝

●森蘭斎《龍虎之図、三国志武人之図屏風》妙高市指定文化財 …… 1ページ
●感染症時代に生きる 常務理事・事務局長　武藤斌 …… 2ページ
●故吉沢久子さんご遺族から寄付をいただきました …… 3ページ
●青陵大学で講座「地域文化論」を実施 …… 4～6ページ
●2020年1月からの「にいがた文化の記憶館」活動報告 …… 7～9ページ
●講演会リポート　森蘭斎と南蘋派 …… 10～11ページ
●にいがた文化の記憶館の書籍、グッズのご案内、にいがた文化の記憶館利用案内 …… 12～13ページ
●にいがた文化の記憶館PR動画配信のお知らせ …… 14ページ
●寄稿　三条市諸橋博士漢学の里（諸橋轍次記念館） …… 15ページ
●新潟県内の文化人顕彰施設・団体からのPR情報 …… 16～20ページ
●文化人似顔絵パンフレットの紹介など …… 20ページ

感染症時代に生きる

常務理事・事務局長　武藤　斌

２０２０（令和２）年度は新型コロナ感染症の猖獗（しょうけつ）と猛暑が重なり、厳しい時節となりました。予防のため、当館も４月21日から５月11日まで20日間休館を強いられました。講演会も開けず、来館者のため消毒薬、体温測定器、マスクなどの装備を迫られ、いろいろ勉強をさせられました。

さて新潟の文化的偉人の記憶を若い世代に伝承普及するため、神林恒道館長が新潟青陵大学で講義を続けて来られましたが、体調を崩されたため客員教授を引退されました。このため、同大学より前期授業として「地域文化論」（15コマ）の担当を依頼され、当館の副読本『みんなで伝えよう　にいがた文化の記憶』と『日本の文化に寄与した　新潟人相関図』を教科書にして私と学芸員らで担当しました。（詳細は４～６ページ）

ところが感染予防のため従来の対面授業が中止となり、全授業がパソコンを駆使したオンライン方式。全国の大学同様に新入生たちはいまだ大学に通えず、寂しい大学生活を送ったであろうと同情しております。

新型感染症のまん延パンデミック（世界的流行）は歴史的には何回かありました。ペスト、天然痘、コレラ、スペイン風邪などが有名ですが、日本では天然痘、コレラ、スペイン風邪がまん延しました。

天然痘の予防は幕末の医師・桑田立斎（新発田藩）が江戸で小児科医となり、牛痘種痘を会得し、「牛痘されれば角が生える」などと忌避する町民に対して啓もう活動を進めながら子供たちに接種しました。その実績を認めた幕府の命令を受け、弟子とともに北海道に渡り先住民アイヌ１万３千人に接種するなど、生涯に７万人に種痘したことは前号の表紙で紹介した通りです。

コレラは、まず江戸期後半に２回、長崎から流行が始まり、数十万人が死亡したといわれています。明治期にも１８７７（明治10）年に横浜、神戸、長崎などで発生し、以後１８７９（明治12）年～１９２０（大正９）年まで相次いでまん延し、死者約27万人超といわれております。

外国船の入港がきっかけとなったことから、海港虎列刺（コレラ）病伝染病予防規則、海港検疫法などと改正が続き、日本での流行は収まったそうです。

当時の新潟新聞によると、県庁が予防規則を布達し、入港船の検査をはじめ、直江津、関川、市振、清水峠、三国峠の交通要所で警察官と医師が旅人の検査。まさにロックダウン（都市封鎖）でしたが、それでも阻止しきれず１８７９（明治12）年までの県内死者は３千人超、全国では10万５千人だったと伝えています。

次に１９１８（大正７）年から２年間流行したスペイン風邪は世界の５億人が感染したというインフルエンザです。当時の世界人口が約20億人ですから、４分の一が感染したことになります。日本の人口５５００万人のうち２３８０万人、約半分が感染し、若い世代を中心に約39万人が死んだそうです。

なぜ若い世代に死者が多かったのか。理由は第一次世界大戦で、過密な兵舎、過酷な条件、栄養失調などが重なっており、軍需産業でも若者が過密で過酷な労働を強いられ感染を広げたということです。当時は第一次世界大戦の最中であり、ヨーロッパ交戦国は病気の流行なども軍事機密。中立国のスペインだけが情報を公開していたので、スパニッシュ・インフルエンザと命名されてしまったそうです。

新型コロナ感染症のワクチンは世界中で開発競争が進められ、欧米では接種がスタートしていますが、我々に届くのはいつになることでしょう。高齢者が重症化するケースが多いとか。歴史の教訓を若い世代に伝えるためにも高齢者は一層自重しなければと思う昨今です。

KOSHI NO KANBAI
NIIGATA JAPAN ESTD 1907
越乃寒梅
清酒　醇良
石本酒造株式会社　ISHIMOTO SAKE BREWERY

Always Security OK ALSOK　新潟綜合警備保障株式会社
大切な人を守りましょう

☎0120-39-2413
本社／〒950-8633 新潟市東区小金町1-17-20

故吉沢久子さんご遺族から寄付をいただきました

新潟日報で『家事レポート』を50年以上連載してきた評論家の吉沢久子さん（**写真①**）。2019年3月に101歳の長寿を全うされました。

写真①

『家事レポート』は、高度成長期の1967（昭和42）年、女性の暮らしと家事をテーマに始まりました。この連載は吉沢さんにとって「日記のような存在」でした。66歳で夫の古谷綱武さんを亡くしたあと、ひとり暮らしをしながらシニアの生き方についてのエッセーも執筆。シニア世代のロールモデルでもありました。

吉沢さんの一周忌を迎えるころ、ご遺族から新潟日報社へ寄付の相談があり、そして新潟日報社から、県出身またはゆかりの文化人を顕彰している当館へ寄付の話をいただき、今回のご縁となりました。

写真②

吉沢さんの一周忌に合わせて企画したのがミニ展示「古谷綱武・吉沢久子展」（会期：2020年1月21日㈫～8月2日㈰）です（**写真②**）。吉沢さんが新潟日報で連載を始めるきっかけは夫・古谷綱武さんが同紙の連載『新潟遠望』（1967～1983年連載）でした。本展では古谷さんと吉沢さんの連載記事パネルと、吉沢さんの直筆原稿や書籍などの関連資料を展示して、評論家吉沢久子の仕事や人となりを紹介しました。

関連イベントとして、吉沢さん主宰の勉強会「むれの会」に長年参加している生活評論家の阿部絢子さん（新潟市出身）の講演会を予定。新聞で募集記事が出るとまたたく間に定員に達するほどの人気でしたが、新型コロナウイルス感染拡大のため夏に延期。講演会の参加者が観覧できるように、ミニ企画展示の会期を8月2日まで延長しました。しかし、講演会の参加者と関係者の安全を第一と考えて、一転、中止としました。感染状況が落ち着いて、多くの方に参加いただける状態での再開を目指しています。

2020年2月末、吉沢さんご遺族の青木恒雄様と青木真智子様が当館に来館されて、展示室内で寄付贈呈式が行われました（**写真③**）。

写真③

贈呈式の様子、左から青木真智子様、青木恒雄様、長谷川義明理事長、新潟日報社・小田敏三代表取締役社長）。式後は開催中のミニ展示をご覧いただきながら、吉沢さんの思い出話を伺いました。

展示スペース、とくに壁面スペースが無い当館でしたが、寄付の一部を活用させていただき展示ケースを制作。今年度の企画展示から大いに活用させていただいています。

展示をご覧いただいたお客様からは、「的確なその時々の内容にいつも指標を示してもらった思いでおりました」、「日報にさりげない日常をありがとうございました」、「家事レポートは身近なことから社会への見方を学べる素晴らしいものでした。本もいろいろと読ませていただき、私の人生の基礎を作りあげる一助になりました」などの温かいお言葉をいただきました。吉沢さんは多くの女性の心の支えであり、師であったのだなと教えていただいた展示となりました。

（文責：石垣雅美）

NST News タッチ
NST 月～金曜 午後6時09分放送

比べてみれば、やっぱりイシカワ
住まいの事なら何でもおまかせ下さい。

株式会社イシカワ
本社：〒956-0801 新潟市秋葉区大蔵738-1
建設業許可番号 国土交通大臣許可 第22137号
宅地建物取引業免許 国土交通大臣(3)第7493号
0120-222-695
www.kk-ishikawa.com

青陵大学で講座「地域文化論」を実施

常務理事　武藤　斌

神林恒道館長が新潟青陵大学の客員教授を引退されたため、同大学より当館に前期授業「地域文化論」（15コマ）の担当を依頼されました。新潟の文化的偉人の記憶を若い世代に伝承普及する活動を継続するため重要と考え、引き受けました。当館の副読本『みんなで伝えよう　にいがた文化の記憶』と『日本の文化に寄与した新潟人相関図』を教科書にして武藤が11コマ、石垣雅美学芸員が2コマ、會津八一記念館の喜嶋奈津代、湯浅健次郎両学芸員が各1コマを担当しました。新型コロナ感染症まん延のため、講義はすべてオンライン授業となり、私共は様々な苦心をしました。もちろん学生さんも大変だったと思います。それらの苦労話も含めて報告します。

パソコンに向かって講義をするなんて考えたこともありません。武藤は自分のスマホ（らくらくホン）で子供や孫ともテレビ電話をしたこともないのです。オンライン授業の方法について大学で事前の説明会がありましたが、パソコン操作に詳しい石垣学芸員に出席してもらいました。

「Gmail」、「YouTube」、「Zoom」などはこれまで縁のない言葉。はなから自分一人で操作することを断念。結局、当館のミニ解説コーナーにある大型ビジョンの前で講義をしました。映し出す解説文や偉人の肖像などの編集と、私の講義の姿を伊豆名皓美学芸員が撮影してくれました。その映像1本15分を目安に撮影し、4本合わせて1コマ合計60分程度としました。1本が長すぎると受講生が疲れるということでした。その映像をYouTubeにアップロードしたのちGoogle Classroomで全受講生137人に配信。出席確認のため、簡単なテスト問題を出し、回答があれば出席扱いとしました。ときどき質問もメールで送られてきました。映像の配信や学生とのやりとりは石垣学芸員が担ってくれました。

撮影の様子

15コマのテーマと分担は次の通りです。

① オリエンテーションと「偉人輩出の背景＝豊かだった越後・佐渡」
② 近現代に新潟県が輩出した文化的偉人群
③ 日本の医学を支えた医学者群像
④ にいがたの医療を担った偉人たち
⑤ 歯科医師界の革新
⑥ 良寛禅師の発見者（會津八一記念館・喜嶋学芸員）
⑦ 越後の自由民権運動
⑧ 新潟県の新聞の勃興
⑨ 明治時代の美術界
⑩ 反骨の系譜
⑪ 活躍した女性たち
⑫ 文学界で活躍した人々＝純文学編（石垣学芸員）
⑬ 新潟往来の芸術家たち（會津八一記念館・湯浅学芸員）
⑭ 文学界で活躍した人々＝大衆文学編
⑮ 新潟県人と映画・マンガ・アニメ（石垣学芸員）

毎回、講義の最初は會津八一の「学規四則」を武藤が朗唱し、学生に覚えてもらうように勧めました。

さて期末試験はどうするか？　オンラインでの実施は難しいので、全員にレポートの提出を求めました。テーマ

お客様に感動を　社会と文化に貢献を
FUJIFILM
株式会社 新潟フジカラー
新潟市東区幸栄2丁目23番16号
TEL:025-275-1341 FAX:025-271-1402
https://www.fuji-icom.co.jp
ドコモショップ新潟店　新潟市中央区上大川前通7番町1230-7 ストークビル鏡橋1F　TEL：025-224-1555
ドコモショップ新潟南店　新潟市中央区上近江1-3-7　TEL：025-288-0053
ドコモショップ新潟東店　新潟市東区新松崎1-7-5　TEL：025-256-7522
ドコモショップ新潟中野山店　新潟市東区若葉町2-4-5　TEL：025-282-7752

学校法人 新潟青陵学園
NIGATA SEIRYO
新潟青陵大学　新潟青陵大学短期大学部
◆看護学部　◆福祉心理学部　◇人間総合学科　◇幼児教育学科
〒951-8121　新潟市中央区水道町1丁目5939番地
TEL：(025) 266-0127（代表）
E-mail：koho@n-seiryo.ac.jp
URL：http://www.n-seiryo.ac.jp/
新潟青陵高等学校　新潟青陵幼稚園

は各自が尊敬する偉人を選んで、その業績、尊敬する理由、さらに自分の将来への決意などをまとめることです。135人が提出。

リポート「尊敬する偉人」医学者を多くの学生が選択

レポートに選ばれた偉人は多い順に、以下の通り。看護・介護系の大学だけに医学者への関心が高いと感じました。（★印は医学者）

1位　各15人＝良寛、★荻野久作
3位　各12人＝★長谷川泰、坂口安吾
5位　各11人＝久保田きぬ子
6位　各6人＝會津八一、杉本鉞子
8位　各5人＝★高橋辰五郎、藤蔭静樹
10位　各4人＝亀倉雄策、中村十作
12位　各3人＝★石塚三郎、相馬御風、小林古径
15位　各2人＝赤沢鐘美、瓜生繁子、大杉栄、★桑田立斎、堀口大學、水島あやめ
21位　各1人＝★尾台榕堂、前島密、小山正太郎、★司馬凌海、★入澤達吉、長谷川海太郎、小川未明、西脇順三郎、野坂昭如、蕗谷虹児、松岡譲、諸橋轍次、鷲尾雨工、遠藤実、大川博、赤塚不二夫、北川フラム、高橋留美子、月岡貞夫

荻野久作

石塚三郎

司馬凌海

長谷川 泰

尾台榕堂

入澤達吉

ちなみにオリエンテーションの代わりとして、最初の講義に先立ち感染症の世界的流行（パンデミック）について説明しましたので、概要を掲載します。

天然痘、コレラ、スペイン風邪 世界に見るパンデミックの歴史

新型肺炎が世界的に蔓延しており、こんな中で大学一年生の授業が始まることはお互いに大変残念なことです。しかし、こんな感染症に負けず、次の時代を引き継ぎ、担っていく皆さんが、こうした苦難を乗り越えてきた人類の歴史を学び、それを参考にして、たくましい新時代を支えていく人間として育ってほしいとおもいます。私もこの大学の講師1年生で、パソコン授業などは初めてです。この講座「地域文化論」が少しでも皆さんが新潟県はもちろん県外でも社会人として生きていくうえで参考になる教養を身に着けてほしいと思います。

さて、新型肺炎のような世界的大流行した感染症は歴史上にたくさんありました。この講座は過去200年間、いわゆる江戸時代の徳川幕府の幕末から明治大正昭和という近代と現代を中心に、新潟県が輩出した、あるいはゆかりの深い文化人を紹介しながら講義を進めますので、この近現代に発生した主な感染症を見てみましょう。

まず江戸時代には**天然痘**いわゆる疱瘡という感染症が子供たちを中心に蔓延しました。西洋人が日本に来た時、日本人の三分の一があばた面だったという話もあります。全身に膿を含んだ斑点ができて高熱を出して死んだので

環境をサポートする
株式会社きらめき
KIRAMEKI
□本社　〒951-8528　新潟市中央区東堀前通6番町1061番地
TEL:025-228-7586　FAX:025-224-5034　http://www.kirameki.co.jp
□中越支店　□県央営業所　□上越営業所　□湯沢営業所
□東京支店　□下越支店　□東港営業所

遠藤実記念館「実唱館」（じっしょうかん）
開館時間　10：00～17：00
休館日　火・水曜日（祝日は開館、翌日休）、年末年始、夏季休暇
所在地　〒953-0012　新潟市西蒲区越前浜6913-1
TEL　0256-77-2777　FAX　0256-77-2776
ホームページ http://www.minoru-endo.com/

すが、治っても後遺症が顔に残る病でした。この病と闘った当時の日本の蘭方医と言われた西洋医学を学んだ医師たちが克服した歴史があります。ここで活躍した医師で忘れられない人物は新発田藩出身の桑田立斎です。牛痘接種を習得した桑田は江戸で小児科医院を開き、「接種されたら牛になる、角が生える」などの迷信や漢方医からの敵視と闘いながら、普及チラシを大量に作り配布し、その実績が幕府に認められました。その後、蝦夷地のアイヌに天然痘による病死が広がっていることから、幕府の命令を受けて、蝦夷地へ弟子とともに渡り、1万3000人に接種したということです。生涯で7万人への接種をしたそうです。この内容は文化の記憶館の館報第5号に紹介しております。また今後の講義「新潟の医学者」で詳しくお話しします。

続いて**コレラ**ですが、これは江戸時代にも何回か流行していますが、当時は国内各地に関所があって人々の交流がせき止められましたので、九州から始まっても箱根の関所で厳重な取り調べがあったので、江戸には入ってこなかったそうですが、明治になって関所が廃止され、人々の交流が自由になった1879（明治12）年と1886（明治19）年に大流行し、死者は10万人を超えるものだったそうです。1895（明治28）年に流行して軍隊内で4万人が死んだそうです。コレラは「虎列刺（拉）」、コロリと死ぬことから「虎狼痢」とも書かれ、トラやオオカミのように恐ろしいということで、おまじないで狼の死骸を持っていればコレラにかからないという迷信がはびこり、狼狩りが広がったそうです。日本狼が絶滅したのはこのせいだという説もあります。1879（明治12）年6月の新潟新聞には全国や県内の感染状況をはじめ、港や県境に警察官や医師が配置された動きを伝えています。新潟大火の後の7月には物資不足で食品が値上がり、米穀商襲撃などが発生、8月には旧沼垂町（新潟市中央区）でデマによる騒動が発生し死傷者15人、逮捕者11人を出したという。この取材をしていた新潟新聞の主筆が感染し急死しています。

コレラ患者の家を見張る警官の絵
（鏡淵九六郎編『新潟古老雑話』より）

マックス・ウエーバー 島村抱月らが感染死

次に1918（大正7）年から2年間で流行した**スペイン風邪**で、世界の5億人が感染した言うインフルエンザです。当時の世界人口が約20億人ですから、4分の一が感染したことになります。当時の日本の人口5500万人のうち2380万人、約半分が感染し、若い世代を中心に約39万人が死んだそうです。なぜ若い世代に死者が多かったのか。その理由は第一次世界大戦で、軍隊の兵舎が過密、傷病兵の病院も過密、過酷な条件、栄養失調などが重なっており、さらに軍需産業でも若者が過密で過酷な労働条件で働かされ、感染を広げたということです。スペインが感染源ではないのですが、当時は第一次世界大戦の最中であり、ヨーロッパ各国とも国内の病気の流行などは軍事機密であり、中立国のスペインだけが国王が感染し情報公開していたので、それが世界中にスパニッシュ・インフルエンザと流れ、命名されてしまったそうです。

このスペイン風邪で、劇作家の島村抱月（相馬御風の恩師）や建築家の辰野金吾が死去。外国ではマックス・ウエーバー（ドイツの社会経済学者）やアポリネール（フランスの前衛詩人・堀口大學の翻訳あり）らが死んでします。

會津八一が愛した
新潟の和菓子
里　仙
本店／新潟市中央区古町13
☎(025) 228-9234㈹

コニカミノルタNC株式会社
本社 〒950-0141 新潟市江南区亀田工業団地1-2-13
TEL (025)383-3000 FAX (025)383-3001
URL http://www.konicaminoltanc.jp
長岡営業所／上越営業所／新発田営業所／富山支店
業務内容：コニカミノルタ複合機 bizhub・医療機器・
商用印刷機の販売及び保守
イベント機器のレンタル 他

2020年1月からの「にいがた文化の記憶館」活動報告1

企画展示1

「新潟の米と酒」

概要

明治期、農業に科学的な思考と方法が導入され、イネの品種改良や科学的な酒造りが進められました。同じころ、西洋のワインやビールは国産向けに改良されていました。本展では新潟の米作と酒造の発展に貢献した新潟県人らを関連資料とともに紹介。あわせて、「月刊キャレル」に連載された「歴史上のごはん」から、当館で紹介している文化人のごはんをパネル展示しました。

会期　令和2年1月21日（火）～3月15日（日）

協力　新潟県農業総合研究所、同研究所作物研究センター、新潟県醸造試験場、新潟県立図書館、新潟市歴史博物館、糸魚川市教育委員会、柏崎市立博物館、サッポロビール株式会社、hickory03travelers、「月刊キャレル」編集部

関連イベント

◎月いちレクチャー「新潟の米と酒」全3回

展覧会風景

企画ミニ展示

「古谷綱武・吉沢久子展」

概要

新潟日報で『家事レポート』を50年以上連載した評論家の吉沢久子さんが2019年3月に101歳の長寿を全うされました。高度成長期、女性の暮らしと家事をテーマに書き始めた『家事レポート』は、吉沢さんにとって「日記のような存在」になり、多くの女性にとっては心の支えとなりました。本展では夫の古谷綱武さんの連載『新潟遠望』と吉沢さんの『家事レポート』の記事パネルを関連資料とともに展示しました。

会期　令和2年1月21日（火）～8月2日（日）

※「新潟の米と酒」、「佐渡を訪れた文化人」に併催

協力　故吉沢久子氏、福井県坂井市立春江図書館、「月刊キャレル」編集部

関連イベント

◎阿部絢子氏講演会「吉沢久子さんに学んだシニアの老後を楽しむ処方箋」

※新型コロナウイルス感染拡大のため中止（後日開催予定）

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

2020年1月からの「にいがた文化の記憶館」活動報告2

企画展示2
「佐渡を訪れた文化人 ―山本家コレクションより」

概要
明治時代に武家政権から天皇親政になると、真野村（現佐渡市真野）の順徳天皇火葬塚（真野御陵）が脚光を浴び、参拝のために佐渡を訪れる人が多くなりました。渡島文化人の多くは真野御陵の管理保全に重要な任を担う山本家の案内を受け、短歌や俳句を作り、山本家でそれを書き残しました。本展では、山本家所蔵の膨大な資料の中から、明治以降に佐渡を訪れた文化人の資料を紹介しました。また、佐渡島内の文学碑の写真も展示しました。

会期 令和2年4月3日（金）～8月2日（日）
※4月21日（火）～5月11日（月）まで 新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館

協力 故 吉沢久子氏

展示協力
山本修巳氏（山本家第12代当主・新潟県文化財保護審議会会長・地域誌『佐渡郷土文化』主催・佐渡良寛会会長・佐渡俳句協会会長）

※関連イベントとして、会期中に山本修巳氏の講演会と担当学芸員による解説会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止いたしました。

「佐渡を訪れた文化人」展覧会風景

企画展示3
「江戸のリアリズム 森蘭斎」

概要
現在の妙高市新井に生まれた森蘭斎（1740～1801年）は南蘋派（なんぴんは）の絵師として江戸中期に活躍しました。越後新潟町にいた五十嵐浚明（1700～1781年）に画を学んだのち、長崎出島に滞在した中国清の宮廷画家・沈南蘋（しん・なんぴん、1682～1760年？）の写実的で鮮やかな技法（南蘋派）を学ぶために長崎へ向かい、そこで南蘋の直弟子・熊代熊斐の門下に。天明2（1782）年、蘭斎は絵手本『蘭斎画譜』を出版。この画譜により南蘋派が広く知られることとなりました。本展では生誕地・妙高市に残る作品を『蘭斎画譜』とともに展示しました。

会期 令和2年8月22日（土）～11月23日（月・祝）

後援 妙高市教育委員会

協力 故吉沢久子氏

展示協力
森蘭斎顕彰会、新潟県立図書館、新潟市歴史博物館

関連イベント
◎横山秀樹氏による講演会「森蘭斎と南蘋派」（10～11ページに詳細）
◎作品解説会 全3回

「江戸のリアリズム 森蘭斎」展覧会風景

多彩な物流システムとネットワークで確かなサービスをご提供致します。
中越運送株式会社
新潟市中央区美咲町 1-23-26
TEL：025-283-0019（代）
http://www.chuetsu-group.co.jp

大光銀行
〒940-8651
長岡市大手通1丁目5番地6
http://www.taikobank.jp/
大光銀行 検索

「江戸のリアリズム　森蘭斎」展覧会風景

「坂口安吾と新潟日報」

概要　昨年度に新潟日報社の所蔵となった「無頼派」作家の坂口安吾が実兄で新潟日報社2代目社長の坂口献吉や日報社幹部に宛てた書簡の一部を、新潟日報社創立記念日（11月1日）に合わせて公開。1946年4月に発表した代表作『堕落論』の原型ともいえる内容の手紙や、戦後の混乱期に地方紙が果たすべき役割を兄に進言した手紙など、貴重な文学資料を展示しました。

会期　令和2年10月6日（火）～11月23日（月・祝）

※「江戸のリアリズム　森蘭斎」展に併催

主催　新潟日報社、当館

協力　故 吉沢久子氏

「坂口安吾と新潟日報」展覧会風景

企画展示4

「没後70年記念　相馬御風のうたのこころ」

概要　令和2（2020）年に没後70年を迎えた、糸魚川出身の詩人・文芸評論家、相馬御風（1883～1950年）。校歌や童謡の作詞などで知られる御風の文学の原点は、11歳で始めた短歌でした。御風の短歌には、人間愛や郷土愛、良寛への敬慕といった慈しみの心が表れています。本展では、糸魚川歴史民俗資料館《相馬御風記念館》の所蔵資料を中心に、御風の短歌について紹介しました。

会期　令和2年12月12日（土）～令和3年3月21日（日）

協力　故 吉沢久子氏

展示協力　糸魚川歴史民俗資料館《相馬御風記念館》

関連イベント

◎作品解説会　全3回

「相馬御風のうたのこころ」展覧会風景

講演会リポート

企画展示「江戸のリアリズム 森蘭斎」関連イベント

講演会「森蘭斎と南蘋派」

講師：横山秀樹氏（前新潟市新津美術館館長）

2020年10月6日（火） メディアシップ6階ナレッジルーム

森蘭斎と南蘋派と題して、日本画を専門とする横山秀樹氏（前新潟市新津美術館館長）に作品スライドを見ながら、講演いただきました。

本題に入る前に新潟の絵画史について少し話したいと思います。文献と事跡がきちんと残っている最初の画家は五十嵐浚明（1700～81年）です。今日話す森蘭斎（1740～1801年）は次に事跡が残る画家です。蘭斎の名は知っていても事跡が不明でした。それを伊藤紫織さん（現尚美学園大学教授）と成澤勝嗣さん（現早稲田大学教授）が調べて明確にしました。同時に妙高市の森蘭斎顕彰会が調査と保存に力を入れました。それにより、蘭斎の名が絵画史に刻まれました。

横山秀樹氏

妙高市の顕彰会が地元に残る作品を調査し『森蘭斎画集』を作り、そこに伊藤さんと成澤さんが良い論文を書いて、蘭斎が明確に浮かび上がりました。地元での調査の重要性がわかる画集です。私はこれを紹介するだけです。森蘭斎だけでは焦点がつかみにくいので、南蘋派についても話したいと思います。

中国の花鳥画家 沈南蘋が長崎へ

南蘋派は江戸時代中期（18世紀）に長崎に滞在した中国清の画家 沈南蘋（1682～?年）の影響を受けた、鮮やかで華麗な色彩と細密な筆法による描写で、写生的な花鳥画を主に描いた、長崎で生まれた画派です。当時の日本画にない立体性と写実性、美しい色彩を持っています。

沈南蘋は名を銓、字を衛斎と号し、12歳で郷里の画家に入門。虫魚花鳥を善くした師から精緻な筆法や艶やかで美しい彩色による写実的な画法を学びました。当時中国で行われていた描き方です。

徳川吉宗の招聘に応じて享保16年（1731）12月長崎に来航し、享保18年（1733）9月に帰国。1年10か月の滞在でした。南蘋が内通事小頭見習の神代彦之進（号は熊代熊斐）に画法を教え、熊斐に学んだ弟子たちにより南蘋派は全国に広まりました。

伝存する作品は①緻密な写生で比較的あっさりとした彩色の写生花卉花鳥画②濃厚で鮮やかな色彩で画面は整理された吉祥画に分けられます。祝い事に使用する吉祥画として珍重されました。

熊代熊斐（1712～72年）は南蘋派誕生のきっかけを作った画家です。

『蘭斎画譜』によると、幼い時から画を学んだ熊斐ですが、沈南蘋の来日当初は入門が叶いませんでした。20歳を過ぎ内通事小頭見習となると南蘋に師事。この間、南蘋が熊斐に教えたのは基本の蘭竹菊梅、いわゆる四君子の描法でした。南蘋の帰国後、熊斐は兄弟子高乾のもとで3年修業し画法を習得。のちに熊斐の名声は全国に知れ渡り、師事する人は千人に及んだといわれます。

南蘋派は粉本（手本）を基本としたため、創作性はほぼありません。誰が描いても同じ画風になるため、発展しなかったと思います。あとで話しますが、蘭斎の画を見ると、それを嫌っていたのではないかと思われます。

新潟で浚明に学び 長崎で熊斐に学ぶ

森蘭斎は名を文祥といい、元文五年（1740）頸城郡荒井村（現妙高市）中町の森田家に生まれました。字は九

新潟日報事業社

●自費出版・記念誌・社史 承ります。

編集者が直接ご相談に応じます。お問い合わせはお気軽に！

〒950-8546 新潟市中央区万代3丁目1番1号 メディアシップ14階
TEL.025-383-8020（出版部直通） http://www.nnj.net.co.jp

新聞販売・折込広告総代理店・デリバリー業務受託・旅行代理店

株式会社 新潟日報サービスネット

〒950-1125 新潟市西区流通3丁目1－1
■代表・新聞販売 TEL025-233-3311 ■折込広告 TEL025-233-3500
■旅行事業 TEL025-250-0300

江、通称は子禎、号は鳴鶴、蘭斎。画人としては「森蘭斎」です。

幼い頃から絵を描くことに優れ、19歳で新潟町の五十嵐浚明に画を学びました。浚明は江戸で狩野派、京都で土佐派に学びました。京都で画家の最高位法眼に叙されたのち帰郷。蘭斎は帰郷後の弟子です。

蘭斎は24歳で長崎へ遊学、熊代熊斐に師事し南蘋派を学びました。のちに熊斐の娘を娶り、安永元年（1772）熊斐没後に長崎を離れ、35歳で大坂へ移住。木村兼葭堂など多くの文人墨客と交友を重ね、画家として暮らし、この地に作品を残しました。

天明二年（1782）42歳で、絵手本『蘭斎画譜』八巻を著わし大坂で出版。熊斐の小伝と授けられた画法について記しています。蘭斎は手本の著者として知られました。

47歳で帰郷し、紀州徳川家注文の極彩色の《孔雀図》を描き、地元にも作品を残しました。新井に残る作品の多くは、この時期、地元の講の求めに応じて制作されたと思われますが、作品に年紀がないので正確な時期は確定できません。

寛政五年（1793）53歳で江戸日本橋に居を構え、画家としての生活を初めると、多くの門人が集まりました。画を求める人も多く、名声が高まり、尾張徳川家新御殿の襖に蘭の水墨画を描き、江戸浅草寺には絵馬《孔雀図》の額を奉納。宇都宮藩主の戸田忠翰が蘭徳斎と号して、弟子となりました。

享和元年（1801）9月18日、江戸にて享年62歳で逝去。墓所は浅草妙清寺にありましたが、関東大震災後、墓は郷里の東本願寺新井別院に移築改装されました。

郷里の顕彰会による調査で、屏風、軸装など約85点が判明し、地元で大切に残されています。

作品は南蘋派の画風である斬新な花鳥画や走獣画が主体ですが、中国人物画、水墨山水画も見られます。熊斐が描いた南蘋画には人物画や山水画は見られません。熊斐の死後、蘭斎は、沈南蘋の作品を熊斐が模写した23幅を形見に譲り受けました。伝存する蘭斎の花鳥画は熊斐や沈南蘋の作品を粉本として描いており、新味のある走獣花鳥画は見られません。

しかし、淡彩で描かれた花鳥画や人物画、墨による四君子や山水画に独自性が見られ、当時の人々の要望も取り入れています。ここが蘭斎の特色といえます。師五十嵐浚明が各流派を折衷した作品を描いたように、晩年の蘭斎作品も浚明の画風に似た一面を持っていたようです。

南蘋派の写実性を応挙らが引き継ぐ

蘭斎の作品は国内では千葉市美術館等、海外ではボストン美術館等に所蔵され、県内では妙高市が所蔵しています。

熊斐の弟子は他に建部凌岱、鶴亭、宋紫石等がいます。鶴亭は南蘋画を最初に大坂に伝えた人です。南蘋画は大坂や京都では盛んになりませんでしたが、江戸で流行し、南蘋画を学ぶ人や求める人が多かったようです。江戸に南蘋画を広めた最初は建部凌岱と諸葛監ですが、普及させたのは、熊斐に師事したのち長崎に来日した宋紫岩に学んだ、宋紫石でした。

また、一時的に南蘋派の影響を受けながら独自の画風を創り上げて、近世日本画壇に名を残した画家に伊藤若冲、円山応挙、与謝蕪村等がいます。南蘋派の写実性は応挙ら京都画壇に引き継がれました。

蘭斎はこれからという時に亡くなった画家です。長生きしていたら、人々の要望を取り入れた蘭斎の画風が定着しただろうと思います。南蘋画はお祝い時の画ですが、江戸時代は武士の時代で、広く水墨画が好まれました。蘭斎はそれらをうまく折衷して新しい画風を考え出したでしょう。

最後に、森蘭斎顕彰会のように作品を伝えていくことが大事です。でないと、近世絵画の真贋を見分ける目が無くなります。その点でも残していただきたいと思います。

（文責：石垣雅美）

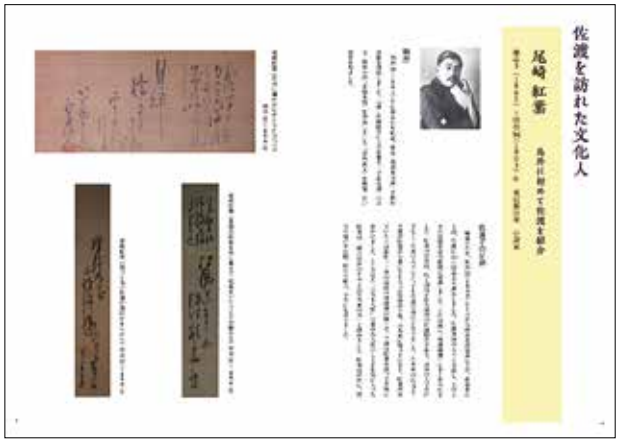
2020年4月新潟市の中心地に開学
事業創造部
起業家、事業承継、企業内ビジネスクリエイター
情報学部
AI、データサイエンス、IoT、ロボット、ゲーム、アプリ
日本初 アニメ・マンガ学部
アニメ、マンガ、キャラクターデザイン
開志専門職大学
KAISHI
KAISHI PROFESSIONAL UNIVERSITY

カナエルチカラ、29の専門学校。
NSGカレッジリーグ
NSGカレッジリーグ 検索
http://mydreams.jp/

にいがた文化の記憶館の書籍、グッズのご案内

・当館で刊行した書籍やグッズなどを販売しています。書籍代金、グッズ代金の他に送料がかかります。詳細は当館までお問い合わせください。
・お電話でのご注文やお問い合わせは、開館日の開館時間内にお願いいたします。
・問い合わせ先、開館時間や休館日情報については本誌13ページ「利用案内」をご覧ください。

お支払い方法　商品発送の際に同封する「払込取扱票」を使い、ゆうちょ銀行、郵便局にてお支払いください。振込手数料はお客様のご負担でお願いいたします。



新商品
『佐渡を訪れた文化人―山本家コレクションより』簡易図録（冊子）

2020年7月発行
にいがた文化の記憶館　編集・発行
定価　500円（税込）

企画展示「佐渡を訪れた文化人―山本家コレクションより」の簡易図録（冊子）。会期中に新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からやむを得ず中止した山本修巳氏講演会で予定されていた講演内容を特別にご寄稿いただき、巻頭に掲載しました。また、企画展出品資料の一部を図版掲載、巻末には、展示で取り上げた文化人の碑を中心に30基を紹介する「佐渡の文学碑」を掲載しました。

〈主な紹介文化人〉尾崎紅葉、巌谷一六、巌谷小波、江見水蔭、与謝野鉄幹、与謝野晶子、河東碧梧桐、高浜虚子、津田青楓、會津八一、相馬御風、荻原井泉水、釈迢空、青野季吉、山口誓子、富川潤一、司馬遼太郎

「にいがた偉人かるた」かるたで遊んで
新潟の偉人を学ぼう！

2019年2月発売
にいがた文化の記憶館　製作
定価　1,300円（税込）

近現代日本の文化的分野で活躍した新潟県とゆかりのある人物がかなり多くおります。その人物の業績と苦心の人生は、県民に勇気と自信を与える内容で、とりわけ若い世代に伝えていきたいものです。そこで「にいがた偉人かるた」（1セット税込み1300円）を制作しました。あいうえお50音ですが、旧字など（ゐ、ゑ、を、ん）を除くと、44人しか紹介できませんでしたが、せめてそれらの人々を知ってほしくて絞り込みました。

すでに当館刊行の若者向け副読本『みんなで伝えようにいがた文化の記憶』（税込み1500円）には111人の偉人を紹介しておりますので、かるた以上に知りたい方は副読本をお読みください。

〈かるたで取り上げた人物〉會津八一、青山杉作、池田謙斎、石黒忠悳、石田名香雄、伊藤誠哉、井上円了、入澤達吉、岩田正巳、大倉喜八郎、大橋佐平、小川未明、小川亮作、荻野久作、亀倉雄策、久保田きぬ子、小林古径、坂口安吾、坂口謹一郎、式場隆三郎、司馬凌海、杉本鉞子、鈴木虎雄、鈴木牧之、相馬御風、曽田範宗、田中美知太郎、土田麦僊、西脇順三郎、野坂昭如、長谷川泰、原久一郎、平澤興、蕗谷虹児、藤蔭静樹、堀口大學、前島密、巻菱湖、宮柊二、諸橋轍次、屋井先蔵、山岡荘八、良寛、吉田東伍（50音順）

神林恒道館長監修の既刊図書も好評発売中です

副読本　「みんなで伝えよう　にいがた文化の記憶」　神林恒道 監修

2015年7月13日初版発行
新潟日報事業社発行
A4判　192ページ
定価　1,500円（税込）

文化人の業績をわかりやすく解説しています。新潟の文化PRの必読書です。

相関図「改訂版 日本の文化に寄与した新潟人相関図」　神林恒道 監修

2016年9月改訂版発行
にいがた文化の記憶館発行
A4判　20ページ
定価　600円（税込）

当館で常設展示している人物相関図をご自宅でも楽しめます。人物相関図から日本の文化の新たな側面を発見！

にいがた文化の記憶館2021年度の企画展示の予定

次のようなテーマで、企画展示を準備しています。

◎日本初の女性脚本家・水島あやめ（仮称）	4月6日（火）　～7月11日（日）
◎生誕130年　松岡譲（仮称）	7月27日（火）　～11月7日（日）
◎反骨の日本画家 尾竹竹坡（仮称）	11月23日（火・祝）～3月6日（日）

＊企画展示名は仮称です。会期や事業の内容などは変更することがあります。
社会情勢の変化や新型コロナウイルスの感染状況の変化などにより、会期や開館時間などが変更することもございます。ご来館の際は、記憶館ホームページやFacebookなどで最新情報をご確認の上、ご来館くださいますようお願い申し上げます。

にいがた文化の記憶館 年間パスポート募集

年会費	法人1口5,000円／個人1口3,000円
会員期間	1年間（毎年4月から翌年3月まで）
特典	① 会員カードのご提示により常設展示、年間3～4回開催する当館主催の企画展示を何回でも自由観覧できます。 ② 当館会員カードのご提示で、県内の一部の施設の観覧料が割引となります。（本誌16~20ページのPASSマーク記載施設のみ適用）

ご入金方法（郵便振込）

◆ 口座名称
ニイガタブンカノキオクカン

◆ 口座記号番号
00510-8-108888

にいがた文化の記憶館 維持会募集

年会費	法人1口50,000円／個人1口5,000円
会員期間	1年間（毎年4月から翌年3月まで）
特典	① 1万円以上お申し込みいただいた方は、当館にてお名前を掲示いたします（希望者のみ）。 ② 会費は寄付扱いとなり、確定申告の際は税の優遇を受けることができます。

お問い合わせ／TEL. 025-250-7171（月曜休館、10:00~18:00）

利用案内

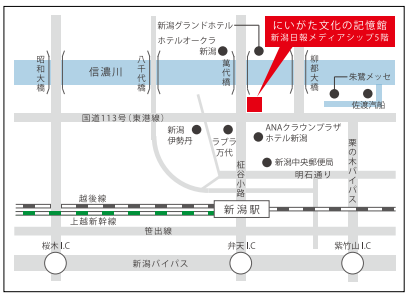
開館時間　午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）

休館日　月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始、展示替え期間
※施設の保守点検等のために臨時休館する場合があります。

入館料
一般：500円（400円）
学生（高校生以上）：300円（240円）
中学生以下無料
※（　）内は団体20名以上
※団体観覧は当館までご連絡ください。
※当館へはメディアシップのエレベーターをお使いください。

交通のご案内
新潟駅から：
タクシー　約5分
徒歩　約15分
新潟空港から：
タクシー　約15分

駐車場のご案内
メディアシップ駐車場
第1：料金　220円／30分（夜間最大1,000円）
台数　80台（3～4階、一部月極あり）
第2：昼間料金200円／30分（昼間最大700円）
夜間料金　200円／60分（夜間最大300円）
台数　110台



にいがた文化の記憶館
〒950-0088　新潟市中央区万代3-1-1
新潟日報メディアシップ5階
TEL　025（250）7171
FAX　025（250）7040
http://nmmc.jp

にいがた文化の記憶館PR動画配信のお知らせ

コロナ禍でネット動画利用が大幅に増加し、広報動画の活用が広がっています。当館も、動画での情報発信に取り組みました。

この機会に当館の公式YouTubeチャンネルを開設し、動画の配信を開始しました。また、この動画を9分間に再編集したダイジェスト版を「文化応援！にいがた結プロジェクト」参加に際しての当館PR動画として新潟県へ提出し、「新潟文化物語YouTubeチャンネル」で公開されました。

にいがた文化の記憶館公式YouTubeチャンネルで配信中の『企画展示「佐渡を訪れた文化人―山本家コレクションより」インフォメーション：山本修巳氏スペシャルインタビュー』はこちらからご覧いただけます。

企画展示「佐渡を訪れた文化人―山本家コレクションより」PR動画として、山本家第12代当主・山本修巳氏のインタビュー動画を公開

企画展示「佐渡を訪れた文化人―山本家コレクションより」の会期中に、山本家第12代当主・山本修巳氏による講演会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からやむなく中止いたしました。講演会中止決定後、山本修巳氏のご自宅へ伺ってインタビューを行い、尾崎紅葉や相馬御風と山本家のエピソード、リピーターとなった渡島文化人が佐渡のどんなところに魅力を感じたのかについてお話ししていただきました。インタビューの収録と動画の編集作業は、担当学芸員が行い、21分間に編集した動画を展示室で公開しました。

館紹介動画を製作・公開

当館を知らない人を対象として、「文化の丁字路・新潟」が生み出した「人の文化」を広く伝えるために、紹介動画を製作いたしました。製作に際しては、専門家からアドバイスをいただきました。当館は、江戸時代の禅僧・良寛を座標軸とし、日本の文化をリードした文化人が相関関係の中から輩出されてきたことを紹介する館です。このことを映像でわかりやすく紹介するため、良寛を起点とする人物相関図のCGが必要とのアドバイスを受け、専門家に制作の協力を得ました。このほか、偉人顕彰館マップのアニメーション制作とナレーションは記憶館の職員が担当。また、記憶館の立地イメージを伝えるために、メディアシップの外観や、展望台から信濃川の河口も撮影しました。また、武藤事務局長による常設展示解説も収録しました。最終的に、撮影した映像や音声を組み合わせる全体の編集作業は職員の手作りにこだわり、不慣れながらも完成させました。

この動画は、新潟県文化祭２０２０のYouTubeチャンネル「新潟ステージチャンネル」で配信する動画作品募集に合わせて製作しました。にいがたステージチャンネルで配信中の動画『【新潟県文化祭２０２０】公益財団法人　にいがた文化の記憶館』はこちらからご覧いただけます。記憶館の職員で力を合わせて作った動画をぜひご覧ください。

総合広告会社
株式会社
フジ・クリエイティブセンター
〒950-0993　新潟市中央区上所中3丁目11番8号
Tel.025-283-6000（代）
http://www.fuji-cc.co.jp

新潟税理士法人　深滝合同事務所
代表社員（税理士）　深滝 信夫
所長　（税理士）　磯部 利行
副所長　（税理士）　上田 英明
副所長　（税理士）　根本 昌幸
社会保険労務士　桑野 光洋
■公益認定・移行申請手続支援業務
■指定管理者申請手続支援業務
■法人税・所得税・相続税・各種会計指導・適正税制・公益法人会計・税務申告・各種税金申告相談等
■経営計画・資金計画・経営指導・生命保険・損害保険等
〒950-2024
新潟市西区小新西３丁目15番７号
TEL：025-267-4843　FAX：025-265-3314
URL：https://niigata-zeirishi.tkcnf.com/

～「にいがた文化ネットワーク協議会」参加館の取り組みを紹介します～

三条市諸橋博士漢学の里（諸橋轍次記念館）

諸橋轍次記念館　館長　嘉代　隆一

当館は、平成四年十月、日本を代表する漢学者であり、『大漢和辞典』編纂者として著名な、三条市名誉市民、諸橋轍次の偉大な学徳を顕彰し、その偉業を後世に伝えるとともに、教育、学術文化の向上を図る施設として、生家に隣接する地に「漢学の里・諸橋轍次記念館」として開館しました。

外観

一階の展示室には、諸橋轍次の百年にわたる歩みを、写真・パネル・映像等で紹介しています。展示室には常設展示とは別に、企画展示コーナーを設け、年間三～四回、主として諸橋轍次自筆の軸や額、交流した日本・中国の学者、文化人の作品等を展示しています。また、日中両国の親善友好を希求した諸橋轍次の心情に想いをいたして整備された和漢の庭園や、生家、景勝八木ケ鼻を望む多目的ホールでは、コンサート、茶会など文化的な催事が行われます。

二階には、研修室、和室を配し、講演会、講座など多様な教育、文化活動に活用されています。

諸橋轍次は、明治十六年（1883）ここ庭月の地（旧下田村・現三条市）で「訓導さま」と尊称された教育者の家に生まれました。幼少時から漢学の素養を身につけ、教師の道を目指して上京、東京高等師範学校国語漢文科に進学し、漢学研究と教育に生きる道を歩みだします。

三十年余の歳月を費やして完成した『大漢和辞典』全十三巻の編纂は世界的な偉業として讃えられています。多くの人々の知恵と力を結集した事業は、戦争、自身の失明、妻の死去など度重なる苦難を乗り越え、昭和三十年（1955）第一巻が完成。その後四年をかけて全巻を刊行。引き続き、修訂増補に取り組み、没後は、門下の高弟が遺嘱に応え、平成十二年『語彙索引』『補巻』を含め全十五巻、親字約五万字、語彙数約五十三万語を有する大著として、構想以来四分の三世紀にして完結し、今なお『諸橋大漢和』と通称され漢字文化の学術振興に寄与しています。

また、東京文理科大学教授、都留文科大学学長などを歴任し教育界に多大な貢献を果たすとともに静嘉堂文庫長を多年にわたり勤め内外の貴重な和漢書の収集保存に尽力し、学界や教育界に多大な貢献をされました。

この間、昭和十二年（1937）皇室講書始の儀における漢籍ご進講、昭和二十一年（1946）から六年間、皇太子明仁親王殿下（現上皇陛下）への漢学の進講や皇孫浩宮徳仁親王（現今上天皇）、礼宮文人親王（現秋篠宮皇嗣殿下）、紀宮清子内親王の誕生に際しては、ご命名の撰進を務めました。

展示室

自らを育んだ郷里の風景と人々とのふれあいを何よりも大切にし、蔵書や浄財を寄付するなど故郷を絶えず心にかけ支援していました。それぞれ、「諸橋文庫」「諸橋奨学金制度」へと結実しています。

それら多くの功績が認められ、昭和四十年に文化勲章、昭和五十一年に勲一等瑞宝章を受章しています。

記念館では、諸橋轍次の偉業を後世に伝える事業として、漢字文化や漢学に関連する講演会等を開催するとともに、全国に向けた活動として『諸橋轍次博士記念漢詩大会』や『諸橋轍次記念漢字文化理解力検定』を実施しています。また、新潟日報朝刊題字脇に毎日漢字の逸話などを紹介する記事を提供するなど漢字文化の継承への興味や関心を高める取り組みを行っています。

諸橋轍次の座右の銘「行不由径（行くに径に由らず）」は、学問と教育の大道をひた向きに歩んだ諸橋轍次の生涯―その〝轍〟は今なお褪せることなく刻まれています。

心静かに諸橋轍次の学徳に触れるとともに、これを育んだ郷里下田の地に多くの皆様のお越しをお待ちしております。

当館へのアクセス・取り組みなど詳しくは当館ホームページ（http://kangaku-morohashi.com/）をご覧ください。

住まいを通じて生涯のおつきあい
MISAWA ミサワホーム北越
〒951-8533 新潟市中央区関新2-1-53
TEL025-232-3330 http://hokuetsu.misawa.co.jp/

感動創造
FUKUDA CORPORATION
株式会社 福田組
本社
〒951-8668 新潟市中央区一番堀通町３番地１０
TEL (025)266-9111（代表）
URL https://www.fkd.co.jp/

新潟県内の文化人顕彰施設・団体からのPR情報

佐渡、下越、中越、上越の市町村順、50音順に掲載。開館日、開館時間など詳細につきましては各所にお問い合わせください。各館の情報は、にいがた文化の記憶館ホームページ上でも紹介しています。

00 館名／団体名
顕彰している新潟ゆかりの文化人
PASS
住所
電話番号
PR情報

PASS …この館で「にいがた文化の記憶館パスポート」をご提示いただくと割引が受けられます。また、この館の「半券」を当館でご提示いただくと入館料を団体料金に割り引きします。

1 佐渡市立佐渡博物館

土田麦僊／佐渡ゆかりの人物
佐渡市八幡2041
0259（52）2447

世界農業遺産、佐渡金銀山、佐渡ジオパークの発信をすると共に、佐渡の自然・歴史・文化を学べる総合博物館。7月から、佐渡ゆかりの画家、恩田耕作・酒川哲保の作品をご覧いただける「恩田耕作・酒川哲保二人展」を開催します。

2 佐渡歴史伝説館

佐々木象堂
佐渡市真野655番地
0259（55）2525

佐渡生まれの鋳金家で、各種展覧会でつねに上位の賞を獲得するとともに『瑞鳥』、『采花』は日本伝統工芸展最高賞を受け、蝋型鋳造技術部門で重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定されました。その名作の数々をご覧頂けます。

3 巻菱湖記念時代館

巻菱湖／館柳湾／亀田鵬斎／中沢雪城など
PASS
新潟市東区河渡庚296-33
080（4159）2581

今年度より新規の事業として、江戸期の浮世絵（錦絵）を複製・販売いたします。主に国立博物館所蔵の写楽・北斎・歌麿の作品100点程を中心に、越後・門出和紙に印刷をし提供いたします。詳しくは当館のホームページをご覧ください。

4 安吾 風の館

坂口安吾
新潟市中央区西大畑町5927番地9
025（222）3062

新潟市出身の作家、坂口安吾を顕彰するため、年3回の企画展を行っています。4月及び8月からの展示では、交友関係、取材旅行、安吾作品をテーマに、12月からは、身につけていた物、遺愛品等を中心に紹介しています。

5 安吾の会

坂口安吾
新潟市中央区八千代2-1-1
新潟市民映画館シネ・ウインド内
025（243）5530

1987年10月20日発足。会報「安吾雑報」、研究誌「安吾探索ノート」発行。「新潟安吾忌」を主催するほか、読書会や街歩きを実施。「安吾生誕祭」企画・運営。毎月第1火曜にクロスパルにいがたで定例会を開催。

6 秋艸会

會津八一
新潟市中央区万代3-1-1
メディアシップ5階會津八一記念館内
025（282）7612

秋艸道人・會津八一を敬愛し、その文芸にふれる新潟市會津八一記念館の友の会。会報「秋艸」を年2回発行し記念館の企画展等の紹介や八一に関する投稿を掲載。命日（11月21日）に「秋艸道人忌」、奈良などへの研修旅行を主催。

7 全国良寛会

良寛
新潟市中央区南浜通2
北方文化博物館新潟分館内
025（222）2262

◎全国良寛会玉島大会を5月15日、岡山県倉敷市「玉島市民交流センター」にて開催。総会・記念講演・ミュージカル「良寛さんの夢想」上演。その後に交流会を開催。5月16日には、座禅会、良寛法要、見学会を開催の予定です。

8 敦井美術館

敦井榮吉
新潟市中央区東大通1-2-23 北陸ビル
025（247）3311

近・現代の日本画・陶芸を中心に、洋画や彫刻・木漆工芸など幅広い所蔵品による企画展を年4回開催しています。2021年度は、絵画では「水墨画展」、陶芸では「東海道五十三次額皿展」などを予定しております。

9 新潟県立図書館

全般
新潟市中央区女池南3-1-2
025（284）6001

1915年の創立から収集してきた蔵書92万冊のうち、約13万冊が新潟県人関係資料を含む郷土資料です。当館ホームページで公開している越後佐渡デジタルライブラリーでは、貴重な郷土資料を画像でご覧いただけます。

10 新潟市 會津八一記念館

會津八一
新潟市中央区万代3-1-1
メディアシップ5階
025（282）7612

秋の特別展のテーマは「茶の湯」。會津八一が初代支部長を務めた裏千家新潟支部が結成70周年を迎えるのに合わせ、八一と茶の湯の関係を八一作品や茶道具、茶人との交わりなどといった点から紹介します。

11 新潟市歴史博物館（みなとぴあ）

全般

新潟市中央区柳島町2-10
025（225）6111

PASS

2021年春の企画展は「みなとまち新潟の記憶―新潟町会所文書の世界」を開催します。新潟町会所につたわった、みなとまち新潟を語る上で欠かせない絵図や文書を紹介します。

12 新潟大学旭町学術資料展示館

中田瑞穂ほか

新潟市中央区旭町通2番町746
025（227）2260

昭和初期に建てられた国登録有形文化財の建物の改修工事のため、2021年6月中旬まで休館します。再開後は「日本酒学」をテーマに企画展を開催予定。常設展示室では標本類・実験機器・考古資料などを展示しています。ぜひご覧ください。

13 新潟良寛会

良寛

新潟市中央区古町通4　考古堂ビル内
025（229）4058

◎良寛・貞心尼法要を4月6日（月）西堀・宗現寺にて開催。記念講演は十日町清龍寺・金山有紘師。
◎総会を4月26日（日）に新潟グランドホテルにて開催。記念講演は雲洞庵・田宮隆児住職。
◆会員外の参加も歓迎いたします。

14 ふるまち良寛てまり庵

良寛

新潟市中央区古町通2-538
025（378）2202

聖僧良寛を顕彰する施設として、2011年10月に新潟の中央商店街古町2番町に無料の「おやすみどころ」として開庵しました。良寛の書作品や関係図書の展示、湯茶の接待やトイレ休憩、気安い会話を楽しめる空間です。

15 北方文化博物館

伊藤家ゆかりの人物／その他

新潟市江南区沢海2-15-25
025（385）2001

PASS

越後随一の大地主、伊藤家の遺構を博物館として公開しています。1882年から8年をかけて建設された大邸宅、大広間から眺める池泉回遊式庭園など、新潟の四季とともに地域や地主の歴史、所蔵美術品を紹介しています。

16 新潟市曽我・平澤記念館

曽我量深／平澤興

新潟市南区味方213番地1
025（373）6600

記念館では、旧味方村名誉村民「曽我量深（第17代大谷大学学長）」、「平澤興（第16代京都大学総長）」おふたりの愛用品や出版物他、功績を讃える遺品を展示しています。

17 雪梁舎美術館

新潟県ゆかりの美術家

新潟市西区山田451
025（377）1888

86畳敷きの展示室を有する美術館です。新潟の美術家―良寛、土田麦僊、横山操、佐々木象堂ら―の作品を収蔵し企画によって展示。マイセン磁器とシャガール版画は常設展示しています。また、毎年8月には全国絵画公募展「雪梁舎フィレンツェ賞展」を開催しています。

18 越佐文人研究会

良寛・會津八一の周辺人物

新潟市西蒲区下山340-2
0256（88）5335

11月中に新潟大学駅南キャンパスときめいとで総会を開催、当日機関誌『新潟県文人研究』23号（特集五泉市ゆかりの書画）を発行しました。来年は加茂、見附、中条等の地域、人物では徳龍、小林存と笠原靭等の企画展を計画中です。

19 遠藤実記念館 実唱館

遠藤実

新潟市西蒲区越前浜6913-1
0256（77）2777

この記念館は、両親の故郷であり、多感な少年期を過した心の故郷新潟に、少しでも恩返しができればと遠藤実自身が開館した音楽の館です。遠藤実の歌づくり人生の足跡、その心のすべてが詰まった実が唱う館へ、ぜひご来館ください。

20 新潟市潟東樋口記念美術館 新潟市潟東歴史民俗資料館

赤塚不二夫／尾竹三兄弟／金子孝信

新潟市西蒲区三方92番地
0256（86）3444

多岐に渡る樋口顕嗣氏寄贈作品・郷土ゆかりの作家作品（赤塚不二夫・尾竹三兄弟・安宅安五郎・長谷川秋一郎・福富雪底他）・金子孝信作品・ありし日の鎧潟資料を展示しています。また、秋には特別展を開催する予定です。

21 市島邸

市島家ゆかりの人物

新発田市天王1563
0254（32）2555

市島邸資料館では、市島家の歴史を伝える企画展示を行っております。また、600坪に及ぶ県指定文化財の母屋と桜や約150本の梅の花・紫陽花・紅葉・雪景色など、四季を通して魅力的な回遊式庭園をお楽しみください。

22 刀剣伝承館 天田昭次記念館

天田昭次

新発田市月岡温泉827
0254（32）1121

PASS

人間国宝・故天田昭次氏が月岡の地で挑んだ、自家製鉄と独創的な刀剣。鍛刀技術の追求の結晶を収蔵しています。太刀、脇差、短刀など、一般的な刀剣のみならず、七支刀などの特殊な形状をした刀剣も展示しています。

23 蕗谷虹児記念館

蕗谷虹児

新発田市中央町4-11-7
0254（23）1013

PASS

大正から昭和にかけて、画家・竹久夢二と並び称された美人画に代表される蕗谷虹児。竹久夢二にその才能を見出された蕗谷は、パリに渡り、フランス画壇で9点も入選。4月18日まで虹児の美人画を特集して「美人画伝説展」を開催中。

24 燕市 長善館史料館

鈴木文臺／鈴木虎雄／長善館ゆかりの人物

燕市粟生津97番地
0256（93）5400

長善館は、1833年から1912年までの80年間に1000人以上の人材を輩出した私塾です。館内には塾の歩みや特色ある教育内容、卒業生の業績等を紹介しています。文化勲章を受章した鈴木虎雄博士の漢詩や遺品も展示しています。

25 燕市分水良寛史料館

良寛

燕市上諏訪9の9
0256（97）2428

良寛書の中でも珠玉の名品といわれる文化財指定品等を春、秋の二回特別展として公開し、市民をはじめ県内外の多くの人々から良寛芸術の真髄に触れてもらい、良寛を支えた地域の人と文化風土を再認識し、学習する場とします。

26 阿賀野市立吉田東伍記念博物館

吉田東伍

阿賀野市保田1725-1
0250（68）1200

PASS

吉田東伍は日本全土の地名を網羅する『大日本地名辞書』を独力で編さんした歴史地理学のパイオニアです。彼はまた、世阿弥の伝書を発見し、能楽界に画期的貢献をするなど、日本文学史上ひときわ異彩を放つ野人学者でした。

27 春城会

市島春城

阿賀野市山口町2-3-25

例年の①生家跡地の整備②小冊子の発行③春城忌の催行④春城の随筆を読む会⑤市民図書室春城コーナーの常設協力は継続。2020年は発会15年、春城生誕160年の節目なので、特別事業として春城の胸像製作・設置を進めます。

28 国指定重要文化財「渡邉邸」

渡邉萬寿太郎

関川村下関904
0254（64）1002

渡邉家11代当主の渡邉萬寿太郎は、現在の六三三制学校制度の礎となる「関谷学園」の創立に尽力しました。旧関谷村長として、江戸初期から続く渡邉家の「家の掟」に基づき、地域振興・文化発展に貢献しました。

29 三条市歴史民俗産業資料館

岩田正巳／渡邉義雄

三条市本町3-1-4
0256（33）4446

当館の建物は、国登録有形文化財の旧武徳殿（武道場）です。常設展の岩田正巳画伯記念室は武徳殿の貴賓室だったところで、和洋折衷のモダンな雰囲気をとどめています。展示とあわせて是非ご覧ください。

30 諸橋轍次記念館

諸橋轍次

三条市庭月434-1
0256（47）2208

世界的な偉業と讃えられた『大漢和辞典』の編纂者、諸橋轍次。座右の銘は『論語』の「行不由徑」。自然豊かな故郷をこよなく愛し、漢学研究と教育の大道をひたむきに歩んだ諸橋轍次の生涯や功績、その人柄を紹介しています。

31 駒形十吉記念美術館

駒形十吉

長岡市今朝白2-1-4
0258（35）6111

当館は、実業家駒形十吉晩年のコレクションを収蔵・展示する美術館です。中でも駒形が親交を深めた加山又造、平山郁夫、加藤唐九郎の作品は高く評価されています。2021年は駒形十吉の生誕120年、彼のコレクションの軌跡を辿ります。

32 長岡市河井継之助記念館

河井継之助

長岡市長町1丁目甲1675-1
0258（30）1525

河井継之助の生家跡に建つ記念館で、旅日記などゆかりの品を多数展示しています。本年6月18日には継之助を主人公とした映画「峠 最後のサムライ」が公開予定となっています。ぜひ一度、お立ち寄りください。

33 新潟県立近代美術館

全般

長岡市千秋3丁目278-14
0258（28）4111

長岡市の「千秋が原ふるさとの森」にある美術館。地元の収集家による「大光コレクション」を軸に、近代の流れを見通せる国内作品や19世紀の西洋美術、県出身作家を主とした「新潟の美術」など、多くの名品がそろいます。

34 新潟県立歴史博物館

全般

長岡市関原町1-2247-2
0258（47）6130

PASS

企画展のほか、常設展示室では縄文展示を中心に新潟県の歴史と文化を紹介しています。昭和30年代の雪国の雁木通りや、縄文人の春夏秋冬の暮らしを実物大で復元しており、タイムスリップした気分を味わえます。

35 良寛の里美術館

良寛、由之、貞心尼

長岡市島崎3938番地

0258（74）3700

PASS

良寛の里美術館は今年創立30周年の記念の年を迎えました。そこで昨年開催できなかった良寛没後190年を回顧する趣旨で秋に特別展を開催します。木村家所蔵の名品を中心に知友各家からも協力いただきます。

36 ドナルド・キーン・センター柏崎

ドナルド・キーン

柏崎市諏訪町10-17

0257（28）5755

75年以上を日本文学研究に費やしたドナルド・キーン先生の、人となりや作家たちとの交流、研究の業績を展示しています。4月から企画展「収蔵庫から選んだ資料展 陶芸家・梅田純一とドナルド・キーンの交流」を開催。

37 魚沼市宮柊二記念館

宮柊二

魚沼市堀之内117-6

025（794）3800

PASS

魚沼の風土が育んだ昭和を代表する歌人宮柊二の遺品や図書資料などを収蔵・展示しています。収蔵資料を順次紹介する企画展と宮柊二の書斎を再現した常設展を開催するとともに、講演会・短歌教室・出前授業などを実施しています。

38 池田記念美術館

池田恒雄／その他

南魚沼市浦佐5493-3

025（780）4080

スポーツとアートをテーマに、池田恒雄が蒐集した美術品やスポーツ資料を中心に、會津八一やラグーザ・玉、小泉八雲など幅広い展示をしています。企画展として新潟ゆかりの作家や現代アートの展覧会も開催しています。

39 鈴木牧之記念館

鈴木牧之

南魚沼市塩沢1112-2

025（782）9860

PASS

鈴木牧之著の『北越雪譜』は、越後の冬の風土や産業、災害、生き物、祭りなどを紹介する随筆集です。江戸でベストセラーとなりました。当館は、牧之の遺墨や北越雪譜、縮関係の資料を分かりやすく展示しています。

40 南魚沼市トミオカホワイト美術館

富岡惣一郎

南魚沼市上薬師堂142

025（775）3646

PASS

雪国越後に生まれ育った洋画家・富岡惣一郎の「白の世界」シリーズを展示しています。雪の白に魅了され、自ら開発した白油絵の具「トミオカホワイト」と、ペインティングナイフで描かれた白の美をご覧ください。

41 良寛記念館

良寛

出雲崎町大字米田1番地

0258（78）2370

良寛記念館は「越後の英雄は上杉謙信と釋良寛の二名」と呼ばれた、良寛の出生地出雲崎町に在る美術館です。50年以上の良寛顕彰の歴史の中で収集した良寛遺墨や縁者、敬慕者作品を年4回の企画展で展示しています。

42 湯沢町歴史民俗資料館「雪国館」

川端康成／その他

湯沢町大字湯沢354-1

025（784）3965

PASS

川端康成の小説『雪国』の情景を描いた日本画ギャラリー、ヒロイン駒子のモデルといわれる松栄が住んだ置屋を再現した「駒子の部屋」が見所。民具・農具を川上四郎の童画にあわせて展示している他、湯沢町の歴史を伝える品々も。

43 岩の原ワイナリー 川上善兵衛記念館

川上善兵衛

上越市大字北方1223

025（528）4002

岩の原葡萄園の創業者であり、「日本のワインぶどうの父」川上善兵衛が取り組んだぶどうの品種交雑やワイン造りの歴史がテーマ別に展示されています。

44 小川未明文学館

小川未明

上越市本城町8-30 高田図書館内

025（523）1083

「日本児童文学の父」「日本のアンデルセン」といわれる小川未明のおいたちや業績、作品が生まれた背景などを紹介しています。未明童話を体験できる仕かけもあり、毎月第2、4日曜日にはおはなし会を開催しています。

45 小林古径記念美術館

小林古径

上越市本城町7-1（高田城址公園内）

025（523）8680

小林古径の作品とともに、上越市ゆかりの作家の作品を収集・展示する美術館として、2020年10月にオープンしました。東京都大田区南馬込から移築復原した小林古径邸と、再現された古径の画室もあわせてご覧いただけます。

46 坂口記念館

坂口謹一郎

上越市頸城区鵜ノ木148番地

025（530）3100

応用微生物学の世界的権威で「酒博士」として知られる坂口謹一郎博士の功績と酒造り道具の展示のほか、敷地内の雪椿の開花にあわせ4月1日から18日まで「博士と酒とつばきの祭典」を開催します。

47 上越市立歴史博物館

歴史

上越市本城町7-7（高田城址公園内）
025（524）3120

常設展示では、「越後の都」をテーマに繁栄した高田城と城下町のようすを模型やVR映像などでわかりやすく紹介しています。カフェやショップもあり、屋上からは高田城址公園や妙高山を一望できます。

48 前島記念館

前島密

上越市下池部1317-1
025（524）5550

前島記念館本館の横に立つ石碑の表は渋沢栄一書、背面400字の碑文は「日本文明の一大恩人がここで生まれた」の書き出しで功績が刻まれています。「日本近代化の父」と呼ぶに相応しい活躍した人格者で功績は多岐に渡ります。

49 糸魚川歴史民俗資料館《相馬御風記念館》

PASS

相馬御風

糸魚川市一の宮1-2-2
025（552）7471

糸魚川市役所に隣接し、明治から昭和にかけて多彩に活躍した郷土の文人・相馬御風の関係資料を中心に収蔵・展示しています。企画展も随時開催しています。糸魚川駅近くの県指定文化財史跡相馬御風宅もぜひご来館ください。

文化人似顔絵パンフレットの紹介

『みんなで伝えようにいがた文化の記憶』文化人のパンフレットは2020年6月に、県内の新中学1年生に無料配布しました。印刷には本年も**日本教育公務員弘済会新潟支部の助成**を受けました。ありがとうございます。当館では、児童たちに先人の偉業などを知って、ふるさとに誇りを持ってもらうことを願って活動しています。

2021年版は昨年秋、新たに文化功労者に選ばれた加藤澤男氏（オリンピック体操選手・五泉市出身）を追加して全116人を掲載します。似顔絵パンフレットは新中学1年生のほか来館者にも配布します。

編集後記

新型コロナ感染拡大の影響で、当館でも講演会活動の中止を余儀なくされました。展覧会に合わせて予定していた講演会2本（生活評論家・阿部絢子氏、山本家12代当主・山本修巳氏の講演会）はやむなく中止。今回掲載した講演会要旨は1本となり、総ページ数も少なくなってしまいました。コロナ禍で依然として先を見通しづらい世の中ですが、このような中でも、情報をお寄せくださった皆様や広告などでのご支援をくださった皆様のお力添えで、今号を発行することができました。厚く御礼申し上げます。

（伊豆名）

～にいがた文化の記憶館を応援します～　（2020年度法人パスポート会員、維持会員、及び協力企業　＊50音順）

ALSOK新潟綜合警備保障㈱、越後札紙㈱、㈱NST新潟総合テレビ、岡三にいがた証券㈱、グリーン産業㈱、クリエイティブ・サポート㈱、㈱コム、㈱新宣、セコム上信越㈱、㈱大光銀行、㈱第四北越銀行、田村紙商事㈱、敦井産業㈱、長岡造形大学、㈱新潟クボタ新潟縣信用組合、新潟税理士法人　深滝合同事務所、㈱新潟日報社、㈱新潟日報サービスネット、（一財）新潟日報美術振興財団㈱新潟放送（BSN）、新潟プレハブ工業㈱、野村証券㈱新潟支店、八海醸造㈱、（公財）ビー・エス・エヌ教育文化振興基金㈱東日本福祉経営サービス、福田道路㈱、㈱ブルボン

新潟日報　ニュースも読める情報紙
あなたの
まちの
Otona
おとなプラス
新潟日報朝刊にプラス 1日約30円（月900円/税込）

新潟日報 電子版
購読料にプラス 330円（税込）
詳しくは 新潟日報 電子版 まで　www.niigata-nippo.co.jp

會津八一が
愛した新聞
新潟日報

わかともよ
よきふみつつれ
ふるさとの
みつたのあせに
よむひとのため

會津八一先生が、郷土の文化振興のため、新潟日報社同人を鼓舞しようと詠んだ歌

新潟日報社
本社　新潟市中央区万代3－1－1
電話 025（385）7111